

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：ラベンダーハイツA・B		種別：共同生活援助（障害者グループホーム）	
代表者氏名：光田 一秀		定員（利用人数）：10名（10名）	
所在地：〒252-0243 相模原市中央区上溝7-4-14 清水百貨店ビル2F・3F			
TEL：042-760-8097		ホームページ：	
【施設・事業所の概要】			
開設年月日：1999年10月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 県央福祉会			
職員数	常勤職員：3名		非常勤職員：11名
専門職員	（専門職の名称）管理者 1名		
	管理者：1名		サービス管理責任者：1名
	世話人：5名		支援員：9名
施設・設備 の概要	（居室数）：居室数10、リビング2、		
	（設備等）：共用トイレ3、風呂3、宿直室1		

③理念・基本方針

法人の理念および方針を遵守し、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため法律に基づく契約をした主に身体障がい及び知的障がいのある方に対して、ラベンダーハイツAは、
①在宅の障がいのある方が地域社会で豊かで自分らしい生活ができるように
②利用者さん・ご家族・関係者への支援を行い、
③生活の場における生活支援を行うとともに、地域生活を送る上での相談・調整などを図り、地域社会で豊かで自分らしい生活が送れるよう支援することを基本方針としています。

④施設・事業所の特徴的な取組

当たり前を、当たり前の分だけを基本的な考え方とし、利用者さん個々の希望や状況、能力に合わせ、個々のチャレンジを支援することを旨としています。その為、支援のやりすぎが起きない様、日々見直しを大事にしています。利用者さんの意向をする為には、苦情受付や面談などの決まった人との話し合いだけではなく、窓口を特定しない日常生活における会話に重点を置いて支援を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年4月27日（契約日） ～ 令和4年4月 10日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2018年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. ホーム独自の業務手順書を活用し、個別支援計画に沿った福祉サービスを提供しています

ホーム独自の業務手順書を時系列と利用者の個別性に着目して作成し、カードリングにとして持ち歩き、職員は一定の水準、内容を保って福祉サービスを実施しています。業務手順書はその通りに実施すれば、利用者から日頃の希望や意見を聞く時間を持てるように設定されています。職員は支援者会議で利用者の状況を確認し、支援方法を検討しています。家族やガイドヘルパー、後見人、就労先の事業所等と連携を取りながら、利用者の声を反映した個別支援計画を作成しています。個別支援計画はモニタリングで見直し、利用者満足度や生活の質の向上を図っています。

2. 個々の利用者のチャレンジを支援しています

ホームでは「当たり前を、当たり前の分だけ」を基本的な考え方とし、利用者個々の希望や状況、能力に合わせ、個々のチャレンジを支援することを旨としています。その実践として「ひとりでイベントに出かけたい」という利用者の希望を具体化するため、団体・家族も含め、様々な検討や話し合いを行い、本人との確認を丁寧に行い、出かけることにチャレンジしました。チャレンジには利用者自身にも応分の責任があることを自覚してもらい、リスクや危険も考慮しながら、最善策を検討し支援しています。

◇改善を求められる点

1. 業務マニュアルの読み合わせ等が期待されます

非常勤職員にも解る施設独自の「業務マニュアル」を作成し、支障なく支援が行なわれています。一方で、マニュアル以外のことに対する対応が遅いなどの傾向があります。熟練の常勤職員による非常勤職へのサポートを行う中で、マニュアルに改善を加え、非常勤職員の支援の幅を広げることが期待されます。

2. 施設設備の改善個所の検討が期待されます

開設後 22 年が経ち施設設備の老朽化も進み、トイレ、廊下の床部分などの共用部分で傷む個所も多くなっています。大規模修繕等に向けて検討していますが、改善が必要な個所が多数あります。安心安全の重要性、改善の容易性と費用の観点から改善個所の検討望まれます。